

前回報告書を平成21年3月25日に提出した後、防衛省より、以下の訂正が行われた。

事業番号	事業名	訂正項目	訂正前（誤）	訂正後（正）
4	事故再発防止策等の推進	目的（何のために）	海上自衛隊の「しらね」火災事案（平成19年12月14日）、「あたご」衝突事故（平成20年2月19日）を踏まえた、事故の直接的な再発防止をめざすとともに、海自艦艇部隊等の不祥事を踏まえた海上自衛隊の抜本的な改革をめざす。	海上自衛隊の「しらね」火災事案（平成19年12月14日）、「あたご」衝突事故（平成20年2月19日）を踏まえた、事故の直接的な再発防止をめざすとともに、海自艦艇部隊等の不祥事等を踏まえた海上自衛隊の抜本的な改革をめざす。
4	事故再発防止策等の推進	特記事項（事業の沿革等）	2つ目の○ ○「あたご」衝突事故に関する対策は、同事故については現在、海難審判庁による審理等が継続しており、現時点で事業化できたものを計上している。	○「あたご」衝突事故に関する対策は、 同事故 については現在、海難審判庁による審理等が継続しており、現時点で事業化できたものを計上している。
8	国際平和協力活動のための装備品等の改善・充実	事業内容（手段・手法など）	3つ目の○ ○固定翼哨戒機を国外で効果的に運用するための可搬式海上航空作戦指揮統制システム（MACCS）の可搬化及び機動展開に関する運用研究	○固定翼哨戒機を国外で効果的に運用するための可搬式海上航空作戦指揮統制システム（MACCS）の可搬化及び機動展開に関する運用研究

次ページ以降に、訂正後の事業概要説明書を掲載する。

平成21年度予算計上の事業に関する説明シート

事業概要説明書－1					
府省庁名	防衛省	予算事業名	事故再発防止策等の推進	番号 4	
担当部局名	防衛政策局	上位施策 事業名	防衛省改革	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	
担当課・係名	防衛計画課			新規	
事業開始年度	平成21年度	根拠法			
実施方法 (該当項目にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				
	上記「実施方法」が「業務委託」「補助金」「貸付」であり、かつ継続事業の場合、H20年度の「業務委託先」「補助先」「貸付先」を下記に記載。新規事業の場合、既に委託先等が見込まれる場合には、下記に記載。また上記が「その他」の場合、具体的な実施方法を下記に記載				
事業概要	目的 (何のために)	海上自衛隊の「しらね」火災事案（平成19年12月14日）、「あたご」衝突事故（平成20年2月19日）を踏まえた、事故の直接的な再発防止をめざすとともに、海自艦艇部隊等の不祥事等を踏まえた海上自衛隊の抜本的な改革をめざす。			
	対象 (誰・何を対象に)	主として海上自衛隊艦艇部隊			
	事業内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 艦艇における火災警報装置の増設等 ○ レーダーデータ記録装置の整備 ○ 水上艦指揮課程（仮称）の設置 ○ 艦艇乗員の負担軽減のためのアウトソーシング 等 			
	事業の必要性	「しらね」火災事案、「あたご」衝突事故のような不祥事を再び引き起こさないためには、事案に対する個別の対策と、その背景となっている海上自衛隊の現状について改善を行う必要があり、海上自衛隊の抜本的改革に関する事業は必要である。			
コスト	平成21年度予算額（百万円）		人件費（H21ベース）		
	事業費	660	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費		担当正職員	千円	人
総計	660	臨時職員他	千円	人	
事業費	年度	総額（百万円）	実施方法が補助金の場合、事業費の負担割合		
	H18(実績)				
	H19(実績)				
	H20(補正後)				
平成21年度 事業費内訳 (算定根拠)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故教訓反映事業 約660百万円 <ul style="list-style-type: none"> ・ レーダー画面の表示内容を記録するための装備、艦船用品の整備 等 				

平成21年度予算計上の事業に関する説明シート

事業概要説明書－2						
府省庁名	防衛省	予算 事業名	事故再発防止策等の推進			番号
					4	
担当部局名	防衛政策局	上位施策 事業名	防衛省改革			<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続
担当課・係名	防衛計画課					新規
活動実績 (H20については補 正予算後ベース)	【活動指標名】/年度実績・評価	単位	H18年度	H19年度	H20年度	
単位当たりコスト (事業費/活動指標)						
成果目標 (現状の成果及び今 後どのようにしたい か定量的な評価で示 す)	各事業を逐年で着実に実施し、事故防止に必要な態勢を早期に確立する。					
成果実績 (成果指標の目標達 成状況等)	【成果指標名】/年度実績・評価	単位	H18年度	H19年度	H20年度	
事業の自己評価 (今後の事業の方向 性、課題等)	各事業を逐年で着実に実施し、事故防止に必要な態勢を早期に確立する。					
比較参考値 (諸外国での類似事 業など)						
特記事項 (事業の沿革 等)	<p>○「しらね」火災事事故に関する対策は、20年3月21日の調査結果を踏まえた対策である。</p> <p>○「あたご」衝突事故に関する対策は、現時点で事業化できたものを計上している。</p> <p>○海上自衛隊の抜本的改革について、現時点で事業化できたものを計上している。</p>					

平成21年度予算計上の事業に関する説明シート

事業概要説明書－1				
府省庁名	防衛省	予算事業名	国際平和協力活動のための装備品等の改善・充実	番号 8
担当部局名	防衛政策局	上位施策事業名	国際平和協力活動体制の充実・強化	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
担当課・係名	防衛計画課			継続
事業開始年度	平成20年度	根拠法		
実施方法 (該当項目にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他			
	上記「実施方法」が「業務委託」「補助金」「貸付」であり、かつ継続事業の場合、H20年度の「業務委託先」「補助先」「貸付先」を下記に記載。新規事業の場合、既に委託先等が見込まれる場合には、下記に記載。また上記が「その他」の場合、具体的な実施方法を下記に記載			
事業概要	目的 (何のために)	我が国が国際平和協力活動において、より幅広い役割を果たせるように、国際緊急援助活動を含む自衛隊の国際平和協力活動全般について、活動内容の充実・強化、活動の円滑化や安全性の向上に資する事業を実施。		
	対象 (誰・何を対象に)	自衛隊部隊		
	事業内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 傷病者をヘリコプターで輸送するための器材の整備 ○ 野外での高度な医療活動のための移動医療システムの整備 ○ 固定翼哨戒機を国外で効果的に運用するための海上航空作戦指揮統制システム(MACCS)の可搬化及び機動展開に関する運用研究 ○ 多様な環境下での活動を可能とするためのヘリコプターエンジンの能力向上 ○ 衛星通信装置、航空機用衛星電話の整備 ○ 輸送ヘリコプターの防弾板の整備 等 		
	事業の必要性	国際平和協力活動のための装備品等については、従来から国際平和協力活動の教訓等を踏まえて、整備・改善・充実を行ってきたところであるが、更に活動内容の充実・強化、活動の円滑化や安全性の向上を図る必要があるため。		
コスト	平成21年度予算額 (百万円)		人件費 (H21ベース)	
	事業費	14,770	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)
	人件費		担当正職員	千円
	総計	14,770	臨時職員他	千円
事業費	年度	総額 (百万円)	実施方法が補助金の場合、事業費の負担割合	
	H18(実績)			
	H19(実績)			
	H20(補正後)	19,111		
平成21年度事業費内訳 (算定根拠)	これまでの国際平和協力活動の実績(教訓)等を踏まえて、装備品の改善・充実・強化に係る各種事業経費：約14,770百万円			

平成21年度予算計上の事業に関する説明シート

事業概要説明書－2

府省庁名	防衛省	予算 事業名	国際平和協力活動のための装備品等の 改善・充実			番号 8
担当部局名	防衛政策局	上位施策 事業名	国際平和協力活動体制の充実・強化			<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
担当課・係名	防衛計画課					継続
活動実績 (H20については補 正予算後ベース)	【活動指標名】/年度実績・評価	単位	H18年度	H19年度	H20年度	
	/					
	/					
単位当たりコスト (事業費/活動指標)	/					
成果目標 (現状の成果及び今 後どのようにしたい か定量的な評価で示 す)	自衛隊部隊による国際緊急援助活動を含む国際平和協力活動への派遣態勢の充 実・強化を図る。					
成果実績 (成果指標の目標達 成状況等)	【成果指標名】/年度実績・評価	単位	H18年度	H19年度	H20年度	
	/					
	/					
事業の自己評価 (今後の事業の方向 性、課題等)	今後とも国際平和協力活動に係る自衛隊の能力の向上を図るため着実な事業の 実施が必要。					
比較参考値 (諸外国での類似事 業など)	/					
特記事項 (事業の沿革 等)	防衛省は、国外への津波・地震災害等への国際緊急援助隊の派遣等の国際平和 協力活動に関する教訓や、国際平和協力活動の本来任務化を踏まえて、逐次、国 際平和協力活動に関する装備品等の整備・充実を行ってきたところである。					